

飯山市近郷の植物～長野県植物誌改訂に寄せて～

高橋 勸*

長野県植物誌（1997）の改訂にあたり、植物誌に記載がないか、もしくは飯山市近郷では初確認となる植物種や品種についてまとめた。また、いくつかの種については発見時やその後の経緯についても記した。参考にしていただければ幸いである。

1. 長野県植物誌に掲載されていない、もしくは飯山市近郷で初確認の主な植物（順不同）

ア、ナベクラザゼンソウ：2001年 大塚孝一氏命名（写真1）

イ、トガクシソウ：1998年 高橋が現場にて確認（写真2）

確認までの経過：同年6月21日植物愛好家大平仁一氏より藤沢の某家の庭にトガクシソウに似た植物が植わっているとの情報を得る。翌22日小生一人で月岡氏宅を訪問して準造氏より経緯を聞く。「…春先山へゼンマイ採りに行き川の左側1.5m位のところにきれいな花があったので採ってきた」とのことだった。早速持参した地図上で場所の見当をつけて、翌23日道なき道を一山越えて4時間後現場に到着、現場は急峻な溪谷で左側と右側に実をつけたトガクシソウが沢山生えていた。翌1999年5月21日、上原脩氏と残雪を踏んで昨年見つけた川上から川下へ向かう近道を通り1時間半で現場へ到着、溪谷の下から見て右側（北側）の群落の方が断然多く開花して両側の幼苗も含めて50株を超えていた。

ウ、ウチワマンネンスギ：飯山市岡山地区柄山の「森の家」の炭焼き実習地辺で多く見られる。

エ、ミヤマカタバミ（紅花品）：飯山市柳原地区堰口、湿原の小川付近に多い。

オ、チシマウスバスミレ：野々海湿原当時はツルタチツボスミレ同様に見られたというのが農業用水目的の野々海湖となり、貴重植物保護に尽くされた飯山町の井上住職と片塩医師が絶滅を心配して元湿原の近くへ移植されたというのが、未だ見つかっていない。その後藤沢正平氏が木島平地区カヤノ平の北ドブ湿原で見つけたと聞き、その場所を何回も調査したが



写真1. ナベクラザゼンソウ。



写真2. 飯山市内山中のトガクシソウ生育地。

不明のまま、そのかわり近くの赤ダレ湿原で確認された。

カ、アキニレ：飯山市正受案敷地で見られるが植樹されたものと思われる。

キ、オオバヤシャブシ：飯山市西大滝の山道沿い。飯山営林署に問い合わせた砂防用として植樹したことが判明。太平洋側の自生種である。

ク、ベニガクノリウツギ：野々海高原ししやち湿原。松田行雄氏採取。

2. 飯山市近郷で確認されている主な植物（順不同） （県植物誌に近郷の産地無名の主な植物）

・オオバブナ・ヒメヤブラン・ヒメニラ・キンラン・ウスゲヤナギラン・キバナノアマナ・ノコギリソウ・ヤマコウバシ・マルバゴマギ・ヤマジノホトトギス・モリアザミ・オオバボダイジュ・シナノキ・ヤマタツナミソウ・ユウスゲ（キスゲ）・トキソウ・コフタバラン・ミズトンボ・ミズチドリ・ツレサギソウ・

* 高橋 勸 〒389-2411 長野県飯山市大字豊田 3680

アカミノイヌツゲ・センボンヤリ・ミヤマウグイス
カグラ・ハクサンオミナエシ・ノッポロガンクビソ
ウ・ウラシマソウ・キツネノカミソリ・ワニグチソウ・
ナガミノツルケマン・オオバツツジ (写真3)・ギョ
ウジャニンニク・ヤエガワカンバ・ナガボノアカワ
レモコウ・オニシオガマ・ママコナ・チョウセンゴ
ミシ・センニンソウ・ナニワズ・オヒョウ・ダンコ
ウバイ・オキナグサ・ミズユキノシタ・ジャコウソ
ウ・イブキジャコウソウ・オオヒナノウスツボ・オ
オミゾハウズキ・ホウチャクソウ・コツマトリソウ・
ニッコウキスゲ (植樹)・コオニユリ・ツルコケモモ・
イワショウブ・ヤチカワズスゲ・タテヤマリンドウ・
ツクバネソウ・オオカニコウモリ・ノブキ・ウリノ
キ・ハクウンボク・クサギ・クマノミズキ・トチバ
ニンジン・イヌドクサ・キバナヤマハウズキ・タニ

ギキョウ・エゾシロネ・ベニバナイチヤクソウ・ミ
ヤマアオダモ・ノジリボダイジュ・キレハサンカヨ
ウ・オニルリソウ・ツバメオモト・オニノヤガラ・
チドリノキ・ヒトツバカエデ (マルバカエデ)・ツ
ルシキミ・ミヤマキハダ・タカノツメ・スズサイコ
(現在は見られない)・ハシリドコロ・ラショウモン
カズラ・オククルマムグラ・オオバキスミレ・コタ
ニワタリ・シラネアオイ・ミツバベンケイ・オオバ
タケシマラン・クルマユリ・ヤナギタンポポ・フシ
グロ・オオレイジンソウ・ハナヒリノキ・コタニワ
タリ・オオバノトンボソウ・カニコウモリ・ヤブレ
ガサ・ネジキ・ベンケイソウ・ウダイカンバ・オオ
シラヒゲソウ・モミジカラムツ・マイヅルソウ・ト
ンボソウ・ウメバチソウ・ベニバナヤマシャクヤク
(写真4)



写真3. オオバツツジ.



写真4. ベニバナヤマシャクヤク.